

## 稲元民夫会員をしのんで

2022年5月20日、日本畜産環境学会常任理事 稲元民夫会員が虚血性心不全のため75歳でご逝去されました。

稲元会員は、1947年にお生まれになり、1970年北里大学獣医畜産学部獣医学科を卒業され、衛生検査技師および獣医師の資格を取得されました。東北大学大学院農学研究科修士課程(畜産学専攻)に進まれ、1973年修士課程を修了し、全国酪農業協同組合連合会小牛田工場および技術研究所に勤務された後、1977年東北大学農学部家畜衛生学講座に助手として赴任されました。1985年～1988年には米国ジョージタウン大学医学部病理学科博士研究員として渡航されるなど活発な研究を展開され、帰国後1991年には、留学先での研究成果を中心に「実験的アスベスト症に関する免疫学的研究-とくに肺胞マクロファージの生体防衛機構について-」を纏められ、東北大学より農学博士の学位を授与されました。1995年東北大学農学部助教授に昇任された後、同年秋田県立農業短期大学助教授に転任、1997年同短期大学教授、1999年秋田県立大学教授に昇任されました。2014年同大を定年退職され、名誉教授の称号が授与されました。ご退職後は、秋田しらかみ看護学院非常勤講師(微生物学)や宮城県獣医師会学術広報委員会委員などを務められました。



ありし日の稲元民夫先生

この間、日本獣医学会会員(評議員)、日本畜産学会会員(代議員)、家畜衛生研究会会員、日本畜産学会東北支部会会員(現、東北畜産学会)、畜産学会東北支部幹事(庶務)、日本細菌学会会員、日本細菌学会東北支部会会員、日本寄生虫学会北日本支部会会員、日本寄生虫学会会員、日本獣医師会会員、畜産環境研究会会員(現、日本畜産環境学会、常任理事、第11回大会大会長、2012年9月6日～7日)、鶏病研究会会員、秋田県馬術連盟(理事)、秋田県農業共済組合連合会損害評価会委員、秋田県農業改良普及員試験委員、東北畜産学会(評議員)、秋田県獣医畜産技術研究発表会助言者、秋田県獣医師会公衆衛生部会委員、秋田県農政部農業関係補助事業に係る第三者委員会委員、秋田県食の安全・確保交付金総合評価委員、秋田県食品衛生管理認証審査委員選考委員、秋田県試験研究開発評価チーム委員、秋田県試験研究機関評価委員、鶏病研究会秋田県支部(監事)などとして活躍されました。1999年には「1980～1982年に宮城県下で分離された牛の志賀毒素産生性大腸菌について」に対して日本獣医公衆衛生学会東北地区学会長賞を受賞されております。

日本畜産環境学会においては、日本畜産環境研究会設立(1993年)から、2001年日本畜

産環境学会への改組から現在までの29年間に渡って、常任理事（1993年～2022年）および会計担当理事（1993年～2018年）を歴任し、学会運営に尽力されました。これらの功績に対して2015年には日本畜産環境学会功労賞を受賞されております。

稲元先生が家畜衛生学講座に助手として赴任されたのは、私の大学院進学時のことです。先生はルーメン粘膜や筋肉組織の形態学的観察を研究の緒としておりましたので、電子顕微鏡による微細構造解析に精通しており、この分野で多くの学生が指導を受けました。また、全国酪農業協同組合連合会の臨床獣医師としての現場での経験に基づいて、現場に直結する研究を常に意識していらっしゃいました。先生は農家を駆け巡って診療する際に、農家の庭先で茶碗酒を振る舞われた事や、冬の夜には酒で体を温めながら牛のお産の介助を行ったことなど楽しそうに語られていました。助手として熱心に学生の指導に当たるとともに、子牛や豚の免疫、病原細菌の抗生物質耐性、病原性原虫クリプトスポリジウムなど、畜産現場での課題に目を向けた研究を展開されました。留学先の米国ジョージタウン大学ではアスベスト症の研究室に属されましたが、その前年から留学していた私の隣の研究室でした。先生の真面目で温かい人柄から、先生は米国人のボスやミャンマー人のスタッフたちにすぐに受け入れられました。とくにボスには気に入られ、日本ではまだ珍しかったパソコンApple IIを帰国時に贈呈されたほどでした。東北大学農学部では、稲元先生の勧めでAppleを使い始めた教員も多く、稲元先生はアップル教の教祖様とよばれていました。秋田県立農業短期大学および秋田県立大学では、ルーメン内および腸管内の微生物叢の解析や腸管内微生物を接種して宿主を感染から守る“プロバイオティクス”、腸管内微生物叢の制御による環境保全など、現場対応型の研究を進められました。

杯を片手に手作りオーディオ、バイク、ウエスタン映画、家畜疾病、微生物、抗生物質、プロバイオティクスと幅広い話題を嬉しそうに話していらした稲元先生を思い出すと話題は尽きませんが、筆を置くことにします。謹んで稲元会員のご冥福をお祈り申し上げます。

日本畜産環境学会 理事長 中井 裕